

# 令和6年度 淀川管内河川レンジャー 活動報告集計表

## 【大阪ブロック】

福島出張所管内

毛馬出張所管内

枚方出張所管内

高槻出張所管内

## 目次

活動報告集計表について	1
福島出張所管内河川レンジャー	
桑村 和男 (14期生:4年目)	3
牧野 高輝 (16期生:2年目)	5
兒玉 曜子 (18期生:試行)	6
河川レンジャーアドバイザー	
辻川 松子	7
西岡 和昭	9
亀井 伸幸	10
毛馬出張所管内河川レンジャー	
伊藤 茂 (12期生:6年目)	11
岸田 俊徳 (15期生:3年目)	13
枚方出張所管内河川レンジャー	
道場 明子 (14期生:4年目)	15
岡村 雅広 (17期生:1年目)	17
天野 康生 (18期生:試行)	23
多田 俊幸 (18期生:試行)	24
河川レンジャーアドバイザー	
上田 豪・玉井 理恵	25
出来 猛	28
安田 宇江亜	29
山口 遼太	30
高槻出張所管内河川レンジャー	
杉本 真一 (14期生:4年目)	31
竹本 克巳 (16期生:2年目)	33
河川レンジャーアドバイザー	
酒井 信行	36
原 健二	37
連携活動	39

# 1 活動報告集計表について

## 1.1 目的

活動報告集計表は、河川レンジャー活動の充実・向上および河川レンジャー制度の進捗点検に活用することを目的としています。

## 1.2 集計表の概要

集計表は、活動報告をもとに、活動で得られた成果と課題をとりまとめた資料です。活動ごとに河川レンジャーによる活動の確認結果を一覧表としてまとめています。さらに、一覧表には、河川レンジャー自身が、活動結果の確認の総括として、『活動全体におけるアピールポイント』および『活動結果を踏まえた今後の課題・改善点』を記載しています。

## 1.3 活動結果の確認

河川レンジャーが活動結果を自ら確認する内容は、以下のとおりです。各河川レンジャーが、年間活動計画において位置付けた活動の目的・目標（STEP 1～3）の達成状況を確認・記入するとともに、活動の充実度、定着度、地域への貢献度、河川事業への貢献度について確認し、該当する項目には○を付け、そのなかでも、アピールポイントに記載した内容に特に関係の深い項目は、●を付けることとしています。

表 1.3.1 「達成状況」「取り組み内容」の確認項目

項目	内容
目標等に対する達成度	1)年間活動計画に示した目標や活動内容に沿った取り組みができたか？ 2)年間活動計画に示した「課題に対する改善点」を踏まえた取り組みができたか？
活動の充実度 (活動における工夫の有無)	① 活動内容について、これまでの課題を“改善”するような工夫はあったか？ ② 活動内容を更に“充実・発展”させるような工夫はあったか？ ③ 活動内容に関して、参加者の声を聞くような取り組みや工夫はあったか？ ④ 活動の広報において、口コミ以外で参加者数を増加させるような工夫はあったか？ ⑤ 継続活動において、メンバー構成(レンジャーの参加者や連携団体)は多様化したか？
活動の定着度 (活動の定着度や広がり、公共性、公平性、継続性の有無)	⑥ 活動は地域の要望(ニーズ)を受け継続しているか？ ⑦ 活動において地域の協力は得られているか？ ⑧ 活動は広く周知され、誰もが公平に参加しやすいものとなっているか？ ⑨ 継続活動において、活動回数や参加者数は増える傾向にあるか？
地域への貢献度 (地域(人)と川の繋がり の促進への貢献度)	⑩ 地域住民の川への興味を向上させ、川の利用、川とのふれあいを促進したか？ ⑪ 地域や連携を図った相手の“川に対する考え”や“活動”に変化はあったか？ ⑫ 河川を愛護する団体などを創出したか？
河川事業への貢献度	⑬ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“住民意見の聴取”(すでにある計画や施設に対する意見の聴取・収集)に貢献したか？ ⑭ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“ニーズの抽出”(河川管理者が把握できていないニーズの抽出)に貢献したか？ ⑮ 河川整備や水辺整備、河川管理への住民の関わり(事業等のプロセス(ワークショップなど)への参加・協力)を促進したか？

## 1.4 貢献分野

集計表では、活動ごとに、主たる貢献分野（一つの活動につき一つの分野）と波及貢献分野（一つの活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野で、複数の分野に該当している場合があります）を示しています。

表 1.4.1 河川レンジャーの活動事例

貢献分野	活動事例
A:治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
B:環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
C:河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、Eボート体験
D:維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所の把握
E:歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
F:川・人づくり	河川公園ワークショップ、意見交換会、ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出

## 1.5 運営会議における意見聴取

運営会議では、活動の成果と課題を確認し、活動の充実・向上に向けた意見聴取を行います。会議における意見は、河川レンジャー活動の定性的評価として資料にとりまとめるとともに、活動の改善につながるよう河川レンジャーに提示します。

### ～河川レンジャーの目指す方向～

河川レンジャーの活動は、自然観察や施設の見学会などの河川への啓発活動を単発的に実施するのではなく、最終の目標を見定めて、知識や経験等の蓄積に応じてステップアップを図りながら、河川レンジャーの役割を果たしていくこととしています。



河川レンジャーの目指す方向



氏名	桑村 和男	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	福島出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

### 1. 活動の目的・目標

#### 1.1 活動の目的

地球温暖化により、最近の異常気象—特に台風・集中豪雨災害が多発しています。また、東南海地震は必ず発生すると言われており、地震・津波災害が予想されます。私の住む大阪市西淀川は、淀川・神崎川に囲まれたゼロメートル地帯で、特に台風等の水害—淀川の水害に見舞われてきた歴史をもっています。ところが最近では、過去の歴史を知らない世代が多くなり、また、淀川に行く経験も少なくなり、水害のことに無関心で住んでいる地域の危険度も知らない人が多くなっています。第2室戸台風の水害を経験した私は、河川レンジャーの活動を通じて、淀川の洪水と人々の防災への取り組みの歴史を住んでいる人に伝えて、これから予想される災害に備えていく活動を地域と連携して進めていくことを目指します。

#### 1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	淀川の河川敷に来てもらって、歩いてもらって、見てもらって、体験してもらって、 ⇒淀川を身近に知り知ってもらおう。	淀川歴史まちあるき	⇒		⇒	⇒	⇒
		バッタのオリンピック	⇒		⇒	⇒	⇒
		区民祭り、防災フェア				⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域の中に入って、河川レンジャー活動を進めていく 地域の人との繋がりを構築していく	淀川一斉美化作戦（西淀川区クリーン作戦）	⇒		⇒	⇒	⇒
		新北野ヨシ原再生の観察・維持（清掃）活動			⇒	⇒	⇒
		マイタイムライン出前講座			⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域住民と淀川の課題について話し合う場をつくって、意見を発信していく。	地域の間（町内会等）での防災活動				⇒	⇒

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6件活動実施、2件取止め、1件雨天中止である。今後3件計画準備中</li> <li>・「淀川歴史まち歩き」5年間継続7回目を、「新北野ヨシ原清掃活動」4年間継続7回目を実施した。「淀川歴史まち歩き」では此花区長参加、参加者から地元での災害の体験など話をさせていただき、津波高潮ステーション見学。「新北野ヨシ原清掃活動」では参加者からの提案で、清掃場所を拡大して取り組んでいただいた。清掃活動の河川敷への移動時に淀川での工事（十三新船着場、淀川大堰開門）を紹介した。活動継続するため、種々のネタを盛り込んで、参加者に淀川を楽しんで理解してもらっている。</li> <li>・新規活動としては、私が河川レンジャーになるきっかけの区民カレッジでマイタイムラインの出前講座の講師をやっと行えて大感激だった。</li> <li>・初めて、地元で参加しているボランティア協議会のメンバー（高校の先生）より夏休みに小学生向けイベントの協力要請を受けて、ヨシ笛つくりと淀川の自然環境の紹介展示を行った。</li> </ul>
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元・西淀川区で河川レンジャーの活動を続けてきて、区役所の担当、地域包括センターの担当、ボランティア交流会、学校の先生、町内会で「淀川河川レンジャーの桑村さん」と呼ばれるようになってきた。</li> <li>課題としては、レンジャー活動を一緒に手伝ってくれる地元の仲間がいないことである。仲間を作っていきたい。将来的にはこの地元の仲間が中心となって淀川のいろいろな課題に取り組んでいくグループにしていきたい。</li> <li>まずは、「西淀川でバッタのオリンピックを行おう！」に協力してくれる仲間の募集を進めていく。</li> <li>・西淀川区の淀川河川敷で行うイベントに淀川河川レンジャーとして積極的に参加していく</li> <li>①西淀川区役所主催 ハゼ釣り大会</li> <li>②福駅周辺活性化協議会主催、西淀川区役所共催 桜祭り</li> <li>③西淀川区役所主催 矢倉緑地清掃活動</li> <li>・区民カレッジ、大阪高齢者大学（私が受けた授業）でのマイタイムラインの出前授業の講師を継続していきたい。</li> <li>・新北野ヨシ原再生 今年、トライアルとして初めて、ヨシの成長を観察して測定記録を取った。うまくいかなかった点もあり、来年度改善して継続していきたい</li> <li>—この活動も手伝ってくれる仲間づくりもしたい。</li> </ul>







氏名	辻川 松子	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	福島出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

### 1. 活動の目的

活動名	活動目的
リバーウォッチャー淀川探検	十三干潟を媒体にして、干潟に住む多様な動植物とふれあい、淀川の自然環境の素晴らしさを知る事で、自然の宝庫「淀川」の環境保全に繋げる。同時に頻繁に起こる災害を基にして、津波や洪水など川の危険性について学ぶことを目的とする。
親子で学ぼう！干潟自然学習会	十三干潟を媒体にして、干潟に住む多様な動植物とふれあい、淀川の自然環境保護について学ぶ。また、頻繁に起こる災害を基にして、津波や洪水など川の危険性を学ぶことを目的とする。
大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-1	～安心・安全なまちづくりをめざして～ =減災に向けて「川と寄り添うまちの自然災害を考える」=
大阪市立新北野中学校「わがまち防災スクール」P-2	～安心・安全なまちづくりをめざして～ =減災に向けて「川と寄り添うまちの自然災害を考える」=
淀川の自然環境保全とクラフト講座	淀川の自然環境保全を基に、淀川で育つ植物を知って自然を大事に思える心を育てる
わがまち「防災スクール」	～安心・安全なまちづくりをめざして～=減災に向けて「川と寄り添うまちの自然災害を考える」=
淀川右岸クリーン大作戦 淀川	河川敷清掃を通してSDGS【持続可能な開発目標】である「6.安全な水 11.住み続けられるまちづくり 14.海の豊かさを守る 15.陸の豊かさを守る」の4項の目標を基に美化活動を行う。

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	育ちゆく子どもたちの豊かな心を育てると共に、体験を通して十三干潟にみる自然環境の保全と、災害時におきるとされる津波・高波等の洪水時の危機意識を育て、次代の担い手づくりに繋げる。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	子どもたちが自然に触れる機会が少なくなる中で、季節に合った様々な体験の場を提供することが重要であり、「川と人をつなぐ」理念を持つ河川レンジャーの役割であると考え。一方で異常気象で様々な事業が出来ない状況にもある。実施する時期を十分に検証しつつ、安全を喫しながら出来る限り、学習の場・体験の場を提供していきたい。







氏名	伊藤 茂	区分	特例再任（1期2年目）	所属	毛馬出張所
----	------	----	-------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

地域住民に淀川の四季、自然や美しさ楽しさを再発見させる。  
 また防災や危機管理などの意識づけや水辺の安全教育も子どもから保護者へまたは、大人から子どもへ自然体験活動を通じて学んでもらう。  
 自然体験活動を通じて地域住民の川に対する関心を深め防災及び環境についても共通認識を向上させる。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試 行 期 間	1期		2期		特例再任1期	
				1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
Step1 地域住民の関 心を高める	遊びを通じて淀川の自然を学ぶ。	自然観察会と水辺の遊びを通じた情報発信と河川レンジャーの知名度UPの為の広報活動の実践。	⇒	⇒	⇒	⇒			⇒
Step 2 河川レン ジャーと管理 者が協働して 取り組む	自然体験活動を通じて流域住民の皆様が防災の共通意識を高め地域団体や活動団体などの連携を強化活用し相互協力体制の構築を目指す。	区行政と連携し子どもから老人まで地域に即したより細かい防災減災活動を提案し実行する。			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step 3 地域住民から 行政へ発信す る仕組みを構 築	水辺や河原の保全・再生や身近な自然を楽しめる川にする為、川とまちが一体となった河川整備を実施できるよう地域住民と行政とのパイプ役になる。	地域住民・地域団体・行政区との協働で環境に適した住民の希望や意見の入った新しい河川公園の整備改修の取り組みを行う。					⇒	⇒	⇒

3. 総 括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川の自然を学びながら防災や行政の危機管理などについて共通認識を高め情報発信を行いました。自然観察会に関してはこんな身近な川でこんなに生き物がいるなんて。毎回、子どもや保護者、学校関係者などに関心を持たれています。魚や貝などの見せ方や触り方、捕り方などいつも大人気です。地域の協力団体も増え区民祭りなどでは、準備段階から強力な助っ人としてご協力くださいました。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	地域団体、行政との協働作業の構築を確実に行動していきます。特に地域での都島区役所には数名ご協力いただける方々がおられますので今後、がっちり協働していきます。淀川の自然環境の発信もありますが、身近で最新情報も発信できる土壌の基礎作りと一人でも多くの方々に地域防災の知識や行政の努力を知って頂き防災を大人子どもにわかりやすく発信できるレンジャー活動が、身近な存在になるよう努力したいと思います。



氏名	岸田 俊徳	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	毛馬出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

1. 活動の目的・目標

1.1 活動の目的

「近隣住民を含む多くの人々に対し水辺への興味度を上げます。」  
 水辺は楽しいことがなんでも出来るイメージがあるが実は危険な箇所が多く、また、見るからにきたない箇所や一部の河川利用常連者（釣り、ラジコン、非動力船）などが幼い子供を持つ親子などに不安を与えることが多いのも今の状況です。  
 誰もが楽しく憩える場所づくりを5年かけて行いたいと思っています。水辺への興味こそが水辺を知る原動力になり、河川で遊ぶだけでなく生態系や防災への興味、緩やかな水辺利用ルールに繋がっていきと考えています。

1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	水辺をみんなで知る。 ・地域住民や今まで河川に興味がなかった人たちに河川の魅力を伝える	①淀川探検隊(7月, 8月) ※生物や植物の採集を通じ現状を把握 7月/桜ノ宮ビーチ 8月/淀川右岸塚本地区	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		②淀川ウォークアバウト(11月, 12月) ※河川管理施設の役割を地域住民に知ってもらう 11月/柴島取水場・水道記念館 12月/毛馬閘門・毛馬排水機場	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		③淀川舟運復活の軌跡を辿る(9月) ※船上から淀川の現状を把握	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
		④バッタのオリンピック(10月) ※淀川の河川利用と生き物の生態を体験	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	水辺を誰かに伝える。 ・地域住民などと河川の魅力を共有し、輪を広げる	①淀川クリーン大作戦(2025年3月) ※淀川の清掃を通じて魅力を共有する 3月/淀川右岸菅原城北大橋周辺		⇒	⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	水辺の使い方を提案実施する。 ・関係者と意見交換会 ・地域住民などと勉強会 ・安全で自由な河川利用を提案	◆淀川ダイキャンプ/意見交換会も検討			⇒	⇒	⇒

3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	淀川や水辺の常連ではなく、淀川や水辺に興味はあるが、どのように関わってよいかわからない近隣の小学生（親子）をメインの対象にしている。生き物採集などを行い、ハードルは低くし、活動の中で、治水、利水、環境、防災などにも触れ、淀川への知見と興味を向上させている。活動体験者は、自らの興味で淀川を楽しむことができるような活動内容に心がけている。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	生き物、植物などの採集を絡めた活動に、興味を持つ親子は多くあるが、街歩きをメインとした活動への関心は薄い。年齢の幅を広げることも検討しているが、淀川の新しいファンづくりも活動の課題としているので、行政や団体との密な広報連携を行い、参加者を募りたい。



氏名	道場 明子	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	枚方出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

### 1. 活動の目的・目標

#### 1.1 活動の目的

①守口市を中心に、地域住民に淀川の魅力を発見し、ファンになってもらうきっかけづくりになるような、気軽に参加できる活動を行い、淀川への関心を高めるとともに、地域住民より「淀川の課題」の情報収集を行う。また、地域の要望に応じて講座を行う。  
 ②守口市のコミュニティセンターや、自治会と連携し地域に密着した水防災講座や、シニア向けや小さいお子様がいる家族向け等、より身近な防災講座を行い、地区防災計画の推進につながる活動を行う。  
 ③自転車利用者のマナー向上活動や、美化アクションを行い、あらゆる利用者が気持ちよく淀川を利用できる啓発活動を行う。

#### 1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試 行 期 間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	地域住民が、淀川に関心をもつ活動を行う。	①淀川散歩（自転車編） 淀川散歩（ウォーキング編） ②防災講座 ③美化アクション ④バッタのオリンピック ⑤地域の要望に応じた講座	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域の自治体、住民団体と協力・連携した活動を行う。	「自転車マナー向上」公園利用者や自転車利用者からアンケートや意見聴取を行いヒヤリハットマップを作成する。		⇒	⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域の自治体・住民団体などが自主的に活動を行えるよう、定期的な活動を定着させる。	(月1回の活動を継続しておこなう。)				⇒	⇒

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	step1の活動は、昨年度新規でレンジャーニュース設置依頼に伺った先で、今年度の講座開催につながったり、過去の講座参加者の依頼で講座を実施し活動の場を拡げる事ができた。今年度は、自転車マナー向上に向けた活動を開始することができたので、今後は定期的に意見聴取を行いながら、マナー向上につなげていきたい。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	step1の活動が中心となっているので、step2、step3と段階を繋げていきたい。「自転車マナー向上」に向け意見聴取を行ったが、聴取数が少ないため定期的に実施し、ヒヤリハット作成に向け状況に応じて実施場所や、聴取内容、聴取方法も検討していきたい。



氏名	岡村 雅広	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	枚方出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

### 1. 活動の目的・目標

#### 1.1 活動の目的

淀川は関西地方ひいては日本の歴史に深く関り、地域住民はもちろん全国から関心を集める宝物です。2025年に開かれる大阪・関西万博に向け新たな舟運利用も計画されており、また枚方市、交野市にまたがる交野が原は再開発計画が実行に移され新たな人々が暮らすエリアと注目されています。様々な歴史を重ねてきた淀川を中心に地域のみなさんに関わってもらいたく親水活動を目指します。なごめるエリアづくり、生物多様性対応を実感できるイベント、もちろん川の恐ろしさも伝えることで自然を畏れる大切さを伝えられればと思います。枚方エリアには枚方公園、淀川資料館という人々が馴染みやすい施設がありこれまで以上に有効利用し、高齢化、少子化が問題となるなかそこにスポットをあてた川づくり、人づくりを目指します。

#### 1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	「なごめる水辺づくり」を提案しイベントを通じて目指す姿に近づけていく。	多自然池エリア環境保全活動＞水辺のごみ回収と草木整備。	⇒	⇒			
		淀川資料館企画展と連携した「淀川をもっと知ろう」講座		⇒			
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	淀川河川公園枚方 多自然池エリアにおける外来種駆除活動を実施する。	観察会を通じて現状を知り、対策を練ったうえで駆除活動を開始する。		⇒			
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	枚方市「かわまちづくり」について住民とともに淀川を活かせる活動に取り組む。	市役所の窓口である下水道整備局及び観光交流課にアプローチしていく。					

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンジャー1年目として2月時点で活動回数32回（前年比200%）参加人数1,296名（前年比230%）うち月例活動の「なごめる水辺づくり」は8回145名（前年比154%）という結果で、自分としてはそれぞれの活動において大きな事故なくまたスムーズに取り組めたのも事務局及び参加者のみなさんのおかげと感謝しております。</li> <li>新規分野にも果敢にチャレンジして経験することで次の活動に活かして自信となりました。その中でも人の輪の広がりには有難さを痛感しています。</li> <li>小学生から高齢者まで多くの方々にゴミ拾いや防災学習を通じて川の魅力、あるべき姿、備える大切さ、これからの課題提案を伝えることができました。</li> </ul>
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンジャー2年目として取り組む課題は</li> <li>1. 枚方多自然池エリアの「なごめる水辺づくり」の継続を通じてゴミ拾いとどまらず環境整備に取り組みます。（伐木後の空間利用、多自然池の有効利用、外来生物の駆除ほか）</li> <li>2. 天野川河口エリア、三矢ワンドの維持管理に取り組みははじめます。活動を通じて川の魅力を伝えられるエリアづくりを目指します。</li> <li>3. 人の輪を活かして、淀川資料館での夏休み企画の活動を充実させます。</li> <li>4. 発見講座、養成講座、ふれあい土木展を通じて河川レンジャーそのものの知名度アップ、次世代レンジャー育成について積極的に取り組みます。</li> <li>5. 要請をうけた活動を通じて淀川の歴史、流域治水について学んで参加者に伝えます。</li> </ul>















氏名	上田 豪	玉井 理恵	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	枚方出張所
----	------	-------	----	---------------	----	-------

### 1. 活動の目的

活動名	活動目的
点野みんなの水辺づくり 2024年4月～2025年3月	河川公園の切り下げおよびワンド整備と連動し、整備後の水辺利用促進と利用者に関わる維持管理の実践と提案をおこなう。団体や人材の育成。河川協力団体ねや川水辺クラブ、摂南大学との連携実績を活かし、さらに地域住民、団体、企業などすそ野を広げ、人材育成につなげる。
淀川まるごと体験会	「点野水辺づくり」計画の一環として、川の楽しさとともに淀川を学び、河川愛護精神と川で安全に遊ぶ心得を伝える。
茨田イチョウまつり	会場は樋門遺構を活かした公園づくりに市民協働でとりくんだ経緯もあり、川の文化を今に伝える史跡公園として知られています。地理的にも文化的にも河川公園と地域とを結ぶ要衝といえます。地域住民の方に河川公園の切り下げ整備について知っていただく機会とし、地域の団体、住民の交流の場とする
淀川京街道クリーン大作戦 点野	淀川流域一斉美化アクションの一環として、ワンド整備工事も完了した点野砂州・ワンド周辺において、地域住民、学校、団体などに呼びかけ河川利用促進とマナーアップのために清掃活動を行います。

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●毎月定例でおこなっている活動では、連携する摂南大学エコシビル部の部員が少なくなっており、参加者数が10名を下回ることもあるが、作業の内容は充実し質も向上している。</li> <li>●市民の関わる川づくり、維持管理、利活用の活性化には定例の維持管理活動と、スポット的イベントを並行して実施し続けることが肝要である。スポットイベントをきっかけに興味を持ってくれる企業もあった。</li> </ul>
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長年継続して取り組んでいるスポットイベントの柱でもある淀川まるごと体験会について、これまでも実施時期、規模など試行錯誤してきたが、実行委員会の場で、これまであがってきた課題を再検討し、次年度は春・夏2回に分け実施する。再整備された親水空間や野草地区の利活用の活性化につなげていく</li> <li>●学生による企画・発信のイベントも継続実施できるよう協力できる体制をととのえる。</li> <li>●定例の点野みんなの水辺づくりは連携する2団体の参加者数が低迷していることから、新規参入団体・グループ、住民の参加しやすい状況整備(早めの日程調整、広報媒体見直し、規律整備など)に努めたい。</li> </ul>









氏名	山口 遼太	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	枚方出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

1. 活動の目的

活動名	活動目的
牧野小学校いきいき広場 船橋川探検隊	小学校単位・多学年を対象として地域の河川環境学習を行うことで河川への関心を高めるとともに安全利用を促す。また、自らの住む地域の水害リスクとその対策について、考え行動する力を養うことを目的とする。
大阪高齢者大学校 防災講演 「マイ・タイムライン」	大阪府高齢者大学校より防災講演の依頼を受け、マイ・タイムラインの講座を実施する。受講生を対象とした講座を通して水災害のリスクへ理解を深めるとともに、水防災に取り組む人づくりを目的とする。
枚方市伊加賀小学校区防災部会 マイ・タイムラインの防災講習	伊加賀校区防災部会より防災講習の依頼を受け、マイ・タイムラインの講習を実施する。防災部会の会員を対象とした講習を通して水災害のリスクへ理解を深めるとともに、地域全体の水防災能力向上を目的とする。
鳥飼さんぽ 自然観察会	鳥飼ワンド川づくりプロジェクトの一環として、近隣の親子（小学生）を対象に、認知度の低い鳥飼ワンドの魅力等を発信し、関心を高める。
桜丘北小学校 4年生 マイ防災マップ出前授業（学習編）	出前授業を通して、風水害がもたらす災害リスクと行政の対応についての知識を深めるとともに、自身の住む地域にどう関わっているかを知ること、自助・共助・公助の認識を育むことを目的とする。
桜丘北小学校 マイ・タイムライン 出前授業	出前授業（参観）を通して、児童とその保護者の風水害に対する個人および家庭単位の災害対応力を高め、地域の中で果たすことが出来る役割についても触れることで自助・共助の認識を深めることを目的とする。

3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	全体の活動を通して、地域の河川環境や水害リスクと対策を伝える中で自身で考え次の行動へとつなげられる工夫を行った。桜丘北小学校の取組では、枚方市とも連携しながら地域の風水害リスクや課題を解説し、その上で児童が取り組める形を提案。従来の出前講座から連続的な講座へと発展させ、児童による地域防災マップ作りへと繋げた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	近年の学習指導の変化から、枚方市をはじめとして小学校出前講座の依頼は増加傾向にある。内容も防災だけではなく河川環境や生物、川の働きなど多岐にわたっているため、それぞれの要請に対して有意義かつ効果的な講座プログラム作成を今後も進める必要がある。地域のニーズを受け取りつつ、淀川に様々な観点から理解と参画を促す仕組み作りを続けていきたい。

2. 活動計画と実施結果 凡例 | 灰色:未実施の活動(理由をアピールポイント欄に記載)、貢献分野 ●:主たる貢献分野 ○:波及貢献分野(活動が主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした分野を選択)

No.	実施状況				連携団体数			達成状況				貢献分野						取り組み内容																							
	活動日	活動名	活動場所	運営形態	参加者数	市民団体等	行政機関	学校関係	確認項目		STEP		治水・防災	環境保全	河川利用	維持管理	歴史・文化	川づくり	確認項目																						
									1) 計画達成状況	2) 課題改善をふまえた取組	計画	結果							活動の充実度					活動の定着度					地域への貢献度					河川事業への貢献度	アピールポイント						
																			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮								
1	2024/6/1	牧野小学校いきいき広場 船橋川探検隊	牧野小学校	共催	58			1			1	○	●	○					○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[充実度]約6年にわたり継続的に実施してきたことで、以前参加者だった小学生が今年は高校生になってスタッフとして参加した。
2	2024/7/9	大阪高齢者大学校 防災講演「マイ・タイムライン」	大阪府助産師会館	協力	39						1	●							○	○	○		●															[定着度]大阪府高齢者大学校からの要請を受けて活動を実施した。			
3	2024/7/13	枚方市伊加賀小学校区防災部会 マイ・タイムラインの防災講習	枚方市伊加賀小学校 図書室	協力	23	1					1	●				○		○	○	●	○	○	○	○	○																
4	2024/9/29	鳥飼さんぽ 自然観察会	鳥飼サービスセンター	主催	15						1		●	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[定着度]鳥飼サービスセンターの協力を得て実施。また鳥飼小学校、鳥飼東小学校、摂津市図書センターにチラシの配布・掲示をご協力頂いた。		
5	2024/11/8	桜丘北小学校 4年生 マイ防災マップ出前授業（学習編）	枚方市立桜丘北小学校	共催	52			1			2	●				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[充実度]当初はマイ・タイムライン授業の依頼から始まったが、打合せを進める中で、マイ防災マップ作り&事前学習へと発展した。[定着度]枚方市危機管理対策推進課より出前授業および資料の提供をいただいた。[地域貢献度]地域の水害リスクに関する河川について解説し、日常的に興味と関心を向けるよう促した。		
6	2024/11/22	桜丘北小学校 マイ・タイムライン 出前授業	枚方市立桜丘北小学校	協力	65			1			1	●				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	[充実度]前回授業時に出た質問として避難方法に関する物があつたため、立退き避難と在宅避難、垂直避難の説明を加えた。[地域貢献度]河川氾濫時の避難計画の作成を通して、河川との係わりを見つめる機会とした。			

氏名	杉本 真一	区分	河川レンジャー（2期目）	所属	高槻出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

### 1. 活動の目的・目標

#### 1.1 活動の目的

【現状】～遊び方を知らない子どもたち～  
 子どもの生活スタイルが多様化し、遊び方の変化や放課後の塾や習い事で多忙であること等から、川で遊んだことのある子どもが少なくなっている。また、学校では「川は危ない近づくな」という指導がされており、安全教育の必要性がある。一方、風水害をはじめとする自然災害は増加傾向にあり、住民の防災意識は高まっているが、学校現場における「防災教育」へのニーズが求められている。

【目的】自然とふれあう機会が少ない子どもたちに、学校では経験のできない自然体験学習や防災学習を実施する。特に高槻市を南北に流れる芥川と淀川とのつながりを意識しながら、子どもの健全育成と河川への興味関心を深めていく。また、多くの世代へ淀川や芥川の魅力や現状を学び教え合う場を創出し、地域の防災や自然環境、歴史、文化などへの理解を深め、持続可能な「川づくりの担い手」を広げていくことを目指す。

#### 1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試 行 期 間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関 心を高める	【つながり】 地域住民とのかかわり	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の実施 ・川と自然とのかかわりを理解する体験学習プログラム ・参加者の募集や関係機関との調整 ②「たかつき防災学習会」の実施 ・河川に関するテーマ（防災、環境、歴史観光等）を学ぶプログラム ※小学校などでの防災出前授業や地域の防災講座	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒
Step2 河川レン ジャーと管理 者が協働して 取り組む	【ひろがり】 河川レンジャーが河川管理者や地域団体と協働	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・他機関との協力体制を構築する ・参加者、サポートスタッフの育成		⇒	⇒	⇒	⇒
		②「たかつき防災学習会」の展開 ・地域団体等とプログラムの実施（防災学習など）※防災学習：持続可能な活動に向け教育委員会等との協議		⇒	⇒	⇒	⇒
Step3 地域住民から 行政へ発信す る仕組みを構 築	【ゆるやかな連携】 地域団体が主体となる活動の支援	①「高槻ジュニア河川レンジャー」の展開 ・参加者が教え学び合う場づくりの支援 ②「たかつき防災学習会」の展開 ・地域団体による避難訓練等の支援 ・小学校等での防災出前授業の確立、子どもたちが活動成果を発表する場の創出 ③鳥飼ワンド外来水草除去活動の実施【連携】 ・地域と協働した活動の支援			⇒	⇒	⇒

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	今年度は高槻市立三箇牧小学校から「淀川をテーマとした総合的な学習」の依頼を受けて学年毎にテーマを設定し、2年生は「川に住む生き物」3年生は「防災学習（洪水から身を守る）」4年生は「環境学習（水はどこからやってくる?）」を行った。当初の活動計画より「川を学ぶ」ことへのニーズがあることを再認識した。また、連携活動として継続中の「流域治水・川づくりプロジェクトin鳥飼地区」も2回実施し摂津市との連携や「わいわいガヤガヤ祭実行委員会」への参画に向けた取組みができた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	「高槻ジュニア河川レンジャー」活動については、近年の夏季猛暑のため、継続的な活動を再検討することを考えている。活動時期の精査やレンジャーHPでのPRを積極的に取り組んでいきたい。「たかつき防災学習会」活動については防災学習のみならず環境や川の歴史についての学習ニーズも高まっていることから「川の学習会」として継続を検討している。また、連携活動については毛馬管内の新規レンジャーに関わっていただきながら本活動を継続、引き継いでいきたい。



氏名	竹本 克巳	区分	河川レンジャー（1期目）	所属	高槻出張所
----	-------	----	--------------	----	-------

### 1. 活動の目的・目標

#### 1.1 活動の目的

子どもの遊び方が多様化し、水辺で遊びふれあう機会が減少しています。水辺への関心、遊びなどを通して「川の防災教育」をすすめる。  
 また、近年の自然災害、特に降雨災害は各地で増加している一方、住民の意識は低く、被害が多発している現状があり「防災」への関心を高めていくことが求められている。  
 そのために、子どもたちには、身近な河川での自然体験学習や淀川の歴史を学び関心を高めます。また、高齢者など地域住民には、身近な河川である淀川の歴史を紐解きながら地域防災や河川への理解を深めて行くことなどを目指します。

#### 1.2 活動の目標

段階	目標	活動内容	試行期間	1期		2期	
				1年目	2年目	3年目	4年目
Step1 地域住民の関心を高める	川とふれあう場を提供しながら自然体験学習などを行い、「川の防災教育」をすすめる。 地域を流れる淀川の歴史、文化などを学び地域住民への防災意識を高める。	三島江野草地区周辺での環境保全活動（5月）	⇒	⇒	⇒	⇒	
		「川の防災」についてのワークショップ開催	⇒		⇒	⇒	
Step2 河川レンジャーと管理者が協働して取り組む	地域自治体や活動団体などと協議・連携を行い、相互協力体制の構築を目指す。	三島江野草地区での地域の自然保護団体等との協働（3か月に1回程度）	⇒	⇒	⇒	⇒	
Step3 地域住民から行政へ発信する仕組みを構築	地域住民等と連携して発信する方法等を模索・検討する。	防災分野や淀川の歴史・文化での地域住民や自治会等との連携した取り組み	⇒		⇒	⇒	
		活動における発信手法の模索・検討及び習得	⇒	⇒	⇒	⇒	

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	<p>〔防災活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の山間部にある日吉台公民館で昨年度から継続して行った防災学習は、地区の福祉委員会の要望を取り入れ本年度は、防災体験学習（7月の浸水歩行などと10月の雨水貯留施設見学会）を行い公民館や福祉委員会の事業に協力し開催することが出来、事業の目的が達成され主催者や参加者から好評を得た。今後もこの地域については、公民館活動に協力し、継続して防災に関する学習を進めていきたい。</li> <li>・淀川沿川の地域についても体験学習を通して、防災意識を高めるよう地域の防災会と取り組んだ。</li> </ul> <p>〔環境保全活動〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三島江河川公園野草地区で中学生の自然観察グループとヤナギなどの樹木の倒木法としての環状剥皮の実験エリアを設定し、継続的に効果を見ながら定期的に活動し、今後もワンド保全についても活動していく計画である。</li> </ul>
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	<p>今年度の活動を通し、主催団体等から継続的な防災活動の要望があることから、引き続き学習会等の開催や地域の公民館や地域団体等と連携しながら、レンジャー活動を展開したい。</p> <p>課題としては、若年層や子育て世代の参加に繋げるような活動を模索し、広報や募集案内、開催日程等について、連携団体等と協議しながら活動を展開していきたい。</p>





氏名	酒井 信行	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	高槻出張所
----	-------	----	---------------	----	-------

### 1. 活動の目的

活動名	活動目的
淀川・鳥飼の環境を学ぼう！ ～ワンドの生き物観察会～ ～流域治水川づくりプロジェクトin鳥飼地区～	鳥飼ワンドの外来植物を地域住民やと関係機関との協働で根絶を目指し、淀川の生態系の保全を図る。 また、住民を巻き込んだ駆除活動及びワンド改良前のワンドのモニタリング調査を行い、持続可能な保全活動とワンドの活用法を川まちづくりと連携しながら考える。
自然とのふれ合い〔三島江野草地区〕樹木伐採とワンド探索 ～流域治水川づくりプロジェクトin三島江野草地区～	地域を流れる淀川との繋がりを深め、地域住民等と連携しながら三島江野草地区の植生管理・再樹林化の防止を及びワンドの保全を考える。 川とふれあう場をつくり、自然を体験しながら河川整備への理解を深める。
淀川・芥川クリーンアップ大作戦	淀川水系一斉美化アクション（第20回淀川芥川クリーンアップ大作戦）一斉清掃を行い水辺環境の保全とマナーの向上に繋げる 河川美化、水辺の環境保全、ゴミを捨てないマナーアップに取り組みます。 また、マイクロプラスチックによる海洋汚染などの生態系を脅かす地球規模の課題に直結している川ゴミを除去するなど、淀川水系から地球規模の課題を解決しましょう。 そして、四季折々の自然豊かで生き物を育む淀川水系をみんなの手で美しく守っていきましょう。

実施結果は、連携活動ページにとりまとめています。

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	<p>○淀川・鳥飼の環境を学ぼう！ ～ワンドの生き物観察会～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本活動から得た知見を基に、ワンドの構造改良及び樹木の伐採基準に基づく存置樹木を選定し河川管理者に提案した。</li> <li>・河川管理渠は提案に基づき現在ワンドの改良・樹木伐採・底泥除去工事が行われ、今年度中の完成を目指している。</li> </ul> <p>○自然とのふれ合い〔三島江野草地区〕樹木伐採とワンド探索</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤナギの再樹林化を防止するため、環状剥皮法による試験地を設け、その効果をモニタリングしている。環状剥皮法はヤナギの再樹林化防止にはベストな方法</li> <li>・地域の中高生が独自に樹木伐採、環状剥皮法のモニタリングを実地している。</li> </ul>
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	<p>○淀川・鳥飼の環境を学ぼう！ ～ワンドの生き物観察会～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンドの改良・樹木伐採・底泥除去工事が今年度中に終了する予定だが、今後ヤナギの再樹林化、外来水草の進入等環境劣化が懸念される。</li> <li>・課題は改良されたワンドを保全するため、モニタリング調査、再樹林化防止などの活動を摂津市、地域住民、企業等と協働活動の仕組みづくり。</li> </ul> <p>○自然とのふれ合い〔三島江野草地区〕樹木伐採とワンド探索</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環状剥皮法のモニタリング結果のとりまとめ公園管理者への提案</li> <li>・堤防上、緊急河川敷道路から淀川水面が眺望できる景観づくり</li> </ul>

氏名	原 健二	区分	河川レンジャーアドバイザー	所属	高槻出張所
----	------	----	---------------	----	-------

### 1. 活動の目的

活動名	活動目的
淀川河川公園大塚地区課題検討WG (第49回～第54回)	淀川右岸大塚地区公園整備計画に対して活用面や安全面での課題に対してその具体的な解決にむけ地域住民や行政で構成する課題検討WGで検討を進め公園整備計画のベストな実現に向けて推進する。
春（初夏）の野草観察会	淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトの一環として、淀川河川公園大塚地区の隠れた魅力を公園利用者に発見していただくため、春（初夏）の河川公園で見られる野草を観察し、大塚地区の自然に親しみを感じていただくことを目的とする。（淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトと淀川河川公園センターの共催で実施）
高槻市南大冠公民館こどもまつり（よしぶえ工作）	高槻市南大冠公民館こどもまつりの1つのブースでよしぶえ工作进行を指導し、高槻鶴殿のヨシ原を含めた自然を学ぶ場とする。（公民館こどもまつりへの協力）
めざせ川探偵！「川の力を解き明かそう」	鳥飼ワンド川づくりプロジェクトの一環として、近隣の鳥飼小学校等の協力のもと、小学生を対象に認知度の低い鳥飼ワンドの魅力等を発信するものである。
高槻市南大冠公民館防災講座（浸水歩行体験）	高槻市南大冠公民館防災講座として浸水歩行体験を通じて早期避難の重要性を地域住民に知ってもらう。 （主催者の南大冠公民館の防災講座への協力）
バッタのオリンピック	淀川河川敷で採集したバッタの飛距離を競うバッタのオリンピックを通じて淀川の自然との触れ合いを推進するとともに参加者から淀川河川公園を含めた河川敷に対する意見・要望をアンケートを通じて入手する。
南大冠東地区住民会議防災研修（浸水歩行体験）	地区コミュニティである南大冠東地区住民会議の自治会長防災研修で浸水歩行体験をしていただき、浸水歩行の危険性を認識していただき早期避難の重要性を学ぶ場とする。（南大冠東地区住民会議への協力）
秋の野草観察とリースづくり	淀川河川公園大塚地区の隠れた魅力を公園利用者に発見していただくため、秋の河川公園で見られる野草を観察し、採取したクズや実を利用してリースづくりをして大塚地区の自然に親しみを感じていただくことを目的とする。 （高槻市南大冠公民館との共催で実施）
地区コミュニティ文化祭出展	地区コミュニティ文化祭でマイ防災マップやタイムラインを中心とした防災関連展示をすることで地域住民の防災意識を高めると共に河川レンジャーの認知度の向上を図る。
冬の野鳥観察と野草の迷路探検	淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトの一つの取り組みとして冬の河川公園利用推進を目的に野鳥観測と野草迷路探検を実施する。 （高槻市立南大冠公民館と共催で実施）
淀川芥川クリーンアップ大作戦（大塚地区）	淀川芥川クリーンアップ大作戦の1拠点として淀川右岸大塚地区の清掃活動を通して河川美化、水辺環境保全に取り組むとともに「マナーアップ」の意識向上を参加者と共有する。また、大塚ワンドの存在を参加者に知ってもらう。

### 3. 総括

	内容
活動全体におけるアピールポイント	今年度は従来の河川公園課題検討WG活動や淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトの中での自然観察系活動の定着がさらに進んだ。それに加えて今までコミュニティ文化祭での防災展示を中心に進めていた防災関連の取り組みが、地域住民に対しての防災研修（浸水歩行体験）に発展させることができた。
活動結果を踏まえた今後の課題・改善点	自身の活動の幅が広がってきており、アドバイザーとしての本来の役割である現役レンジャーへの指導が充分できていないと感じる。淀川河川公園大塚地区魅力発見プロジェクトの取り組みが定着してきている中で自然観察系のイベントに関しては現在共催している高槻市南大冠公民館へイベント主体を徐々に移行していくように取り組む。合わせて本地区で活動する河川レンジャーの後継者の発掘に注力していきたい。





